

令和元年度

浦添市てだこ市民大学 第9回講座

**子ども達のために、
小中学校と協働により
取り組めること**

令和元年7月25日

平良さんの講話から気づいたこと

失生の
連携

対話.

異文化.

英語を重視
しすぎて、母国
語がおろそかに
なっても本来転倒

(ヨウの子ども達は
(Chim) もっしア
7thで筆跡
だいた分かる
今の子ども達大変だね

○女子1120色んの
角度から実施及
計画されている。
それだけ課題
問題大がね!!

神話の歴史
をちょっと!!
○日本文・世界史別

平良さんの講話から気づいたこと

スバラシー
ラーニング
プランでした。

不登校が
多い

あそぶ？
場所が
ない

英語教育
これから？

子ども達の
ための取り組み
がすごい。

不登校の子の
親に対する
考え？

学力だけでなく
人間性も育て
場として
学力

子ども達のために、小中学校と
協働により取り組めることは、

自分達の住んでいる所の歴史を知る事
但し単に知る事を知る事は、
一歩に於いて知ろう!!

です。

子ども達のために、小中学校と
協働により取り組めることは、

当事者性。

です。

子ども達のために、小中学校と
協働により取り組めることは、

プラシ どうり実践していかたら
すばらしい人に成長していくとびよう
おちがいはなく、

です。

子ども達のために、小中学校と
協働により取り組めることは、

親と学校と連携して。

子どもの生活リズムを整える場を
つくる。

です。

子ども達のために、小中学校と
協働により取り組めることは、

やはり ~~環境~~環境を整えるという事で
学習しやすい
美化活動を取り組みたいと思いました。

です。

子ども達のために、小中学校と
協働により取り組めることは、

福祉教育

です。

子ども達のために、小中学校と
協働により取り組めることは、

高校生や大学生などの、
もっと年が近い年上の人との
関わりを増やす。

です。